

清水新道[探索歩道]

清水新道（しみずしんどう）は、志賀高原（しがこうげん）の中でも特に人気のある池めぐりコースと自然探勝（しぜんたんしょう）コースの2つを結ぶ短い自然探索歩道で、通して歩くことで周回できるようになっている。大沼池入口（おおぬまいけいりぐち）バス停を起点とし、ジャイアントスキー場ゲレンデを越えて信州大学自然教育園（しんしゅうだいがくしせんきょういくえん）バス停まで続いている。全長約 1.1 キロメートルで、終点までの所要時間は 40 分。

距離は短いものの、コース上には地質学者や生物学者の関心を引くものが数多くある。志賀高原は、40 万年前に起きた志賀山（しがやま）の噴火による溶岩流で、一帯が平らにならされたことでできあがった。この時の溶岩が、コース沿いに所々あるゴツゴツした安山岩の巨石と高山性の原生林に混じって今でも垣間見ることができる。そのため、文明から切り離されたかのような原始的な雰囲気が漂っている。

このコースでは、黒みがかった茶色の水をたたえた長池（ながいけ）一帯のパノラマを楽しむことができる。水がこのように自然に黒みがかっているのは、木々の立ち並ぶ斜面の底に池があり、雨が降ると、落ち葉が腐敗してできた黒いローム質土がそこに流れ込むためである。汚れているように見えるかもしれないが、実際は栄養分が豊富で、スゲやシガアヤメ（*I. sanguinea X setosa*）などの湿生植物にとって理想的な環境になっている。

池のある一帯は、志賀高原の中でも指折りのバードウォッチングスポットになっており、特に、約 30 もの在来種の鳥が繁殖期を迎える 5 月と 6 月の朝は、鳥たちのさえずりが響き渡る。